

## 調査で収集された試料および情報の移管についてのお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室教室

近畿大学医学部 公衆衛生学教室

### 記

研究の名称	骨粗しょう症性骨折の予防のための疫学調査
対象	平成 8 年（1996 年）以降、全国 7 市町（香川県さぬき市、福島県西会津町、沖縄県宮古島市、新潟県上越市、北海道芽室町、岩手県岩手町、熊本県甲佐町）で実施した骨粗しょう症性骨折の予防のための疫学調査を受診された約 4000 名の方
試料・情報の移管に関する概要	<p>この疫学調査で平成 8 年（1996 年）からこれまでに得られた試料および情報は、近畿大学医学部公衆衛生学教室内で保管されていました。令和 4 年（2022 年）3 月末日に伊木が近畿大学を定年退職することに伴い、試料および情報のすべてを、大阪医科薬科大学医学部 衛生学 公衆衛生学教室 玉置に移管し、引き続き保管いたします。</p> <p>対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、近畿大学から大阪医科薬科大学への試料および情報の移管を取りやめることも可能ですので、その場合は、下方にある連絡先までお願いいたします。</p>
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的：平成 8 年の初回調査からの約 25 年間における骨密度の変化や、その間に骨折したかどうかを把握し、今後の各市町や我が国の骨粗しょう症予防および骨折予防対策に活かすことを目的とします。骨粗しょう症や骨折と動脈硬化などとの関連についても検討します。また、検診で得られた情報や血液・尿を利用して、骨折、骨密度、動脈硬化、糖尿病、体組成、筋力等と関連する血液や尿中のマーカーについて調べることも目的とします。</p> <p>利用方法：平成 8 年から現在までに、本調査を受診していただいた情報と、その後骨折したかどうか等の情報を基に統計解析を行います。抽出する調査の情報は、厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>試料： 血液、尿</p> <p>情報： 受診者の氏名、生年月日、住所、電話番号、同意書、研究課題「骨粗しょう症の予防のための疫学調査」で平成 8 年からこれまでに蓄積されたアンケート、カルテ、骨密度、体組成、血液検査結果、尿検査結果</p>

<b>研究者名</b>			
【研究責任者】			
大阪医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室		教授	玉置 淳子
共同研究機関			
近畿大学医学部公衆衛生学教室	教授	伊木 雅之	
中京学院大学看護学部	教授	梶田 悦子	
関西医科大学医学部衛生・公衆 衛生学講座	研究教授	甲田 勝康	
仁愛大学人間生活学部	教授	佐藤 裕保	
女子栄養大学栄養学部	教授	上西 一弘	
北里大学一般教育部	教授	北川 淳	
日本薬科大学薬学部	助教	今井 菜美	
北里大学北里研究所病院診療技 術部	理学療法士	嘉治 一樹	
<b>参加拒否の申し出について</b>			
<p>ご自身の情報および試料を研究に利用させて頂くこと、または近畿大学から大阪医科薬科大学への移管に対する問い合わせ、拒否を申し出たい場合は、下記のいずれかの連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。利用や移管に関して拒否の申し出をされた場合は、申し出ていただいた内容に応じて対応させていただきます。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>			
<b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b>			
【主管研究機関】			
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号			
大阪医科薬科大学医学部衛生学・公衆衛生学教室			
担当者	神谷、久藤、津田		
連絡先	072-683-1221（代）	内線2651	
<b>&lt;共同研究機関&gt;</b>			
〒589-0014 大阪府大阪狭山市大野東377-2			
近畿大学医学部公衆衛生学教室			
担当者	由良晶子		
連絡先	072-366-0221	内線3272	